

**[北翔大学短期大学部人間総合学科] 舞台芸術系記録
(二〇〇七年一月～十二月) (小特集:教育上演の役割 大学編)**

著者	村松 幹男
雑誌名	Probe
号	2
ページ	82-84
発行年	2008-02
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001334/

舞台芸術系記録（二〇〇七年一月～十二月）

二〇〇七年の舞台芸術プロジェクトと舞台芸術系の動きをまとめた。

二〇〇七年

一月 高校生のための「演劇教室」

高文連石狩支部演劇専門部と合同でワークショップを行った。

三月 「水平線の向こうに山は見えるだろうか」上演

三期生有志による自主企画公演。石倉麻樹 作・演出（原案はハスモト）、ラグリグラ劇場。

二期生卒業。

四月 四期生入学（十五名）。

五月 三期生（二年生）中間公演「三人姉妹」上演

五月十七日・十八日、教育文化会館小ホールにて上演した。

舞台芸術研究ワークショップ Vol.1

「教育上演の課題と展望」札幌、ソウル、大阪」

五月十九日、ポルトホールにおいて、研究会・中間公演『三人姉妹』をめぐる・中央大学校（韓国）における製作公演の現状と問題点・光塩ミュージカルの25年・学外公演の舞台装置完成まで―アイディアと大道具の間にあるもの

西札幌高校演劇ワークショップ

六月

高文連石狩支部演劇専門部と合同。ワークショップを通して「二人のイーダ」上演

北翔大学・北翔大学短期大学部名称変更記念シンポジウム

ウム



シンポジウムの基調演劇として、いじめをテーマとした「遠くを…」上演。記念シンポジウムの舞台設営・照明・音響・映像も担当。携帯における掲示板やプロフィールサイト、メール等の表示を映像により表現。

富良野研修旅行

七月

富良野塾「ニングル」観劇・富良野演劇工場見学など。「スクールユニフォーム展示会」におけるファッションショー

明石被服興業株式会社との産学連携。明石被服興業株式会社では、毎年展示会を開催し、三年に一回ぐらいの割合でファッションショーも展示会で行っている。このファッションショーを北翔大学短期大学部人間総



合学科の服飾美術系と舞台芸術系の学生で企画してくれないかとの依頼であった。服飾美術系の学生は、スクールユニフォームのデザイン画も描き、その中から十点ほど、実際に縫製していただいた。ショーは「新作発表」と「ジャージ」、「学生の作品」の三部構成になること以外、ほとんど制約がなく、会場レイアウト案・ステージ配置、照明、音響、ショーのモデルなどを服飾美術系と舞台芸術系が担った。

東京研修

劇団四季「キャッツ」・歌舞伎鑑賞。四季劇場・国立能楽堂・国立劇場・新国立劇場バックステージツアーなど。

八月 四期生（二年生）

試演会

「ボンコツ車と5人の紳士」
別役実作。大
学祭時にパ
ル6Fで公演
した。

十月 三期生（二年生）

試演会

「神さま事情」
クロカゼ作。

今年はオープンキャンパスに合わせて本学パル6Fで上演された。オープンキャンパスではシークレットライブの企画があり、その関係で映像を映写できる巨大な落とし幕を作成した。それを利用し、学生の作成した映像作品も客入れのときに上演された。

例年のように、二年生の試演会は、学生自身が企画し、収支決算を含めて学生自身だけで上演する形態をとっている。今回はいわゆるインターネット台本が採用された。作者（クロカゼ）も高校時代に書いたといっているように、台本の内容は物足りないものがあつた。教員側は「あまり賛成できない」旨を学生には伝えたが、



「ボンコツ車と5人の紳士」



「おかしな二人 (女性版)」ポスター

十二月

基調演劇「遠くを…」上演

試演会の主旨を尊重して上演することとなった。来年度以降は、二年生の試演会の主旨を尊重しつつも、上演する台本に関しては教員側と話し合いながら決定する方向にしたいと思っている。

石狩管内社会教育共同事業平成18年度「フォーラム石狩」豊かな心の育成」において、基調演劇として上演した。フォーラムの舞台設営・照明・音響・映像も担当。

三期生(二年生)卒業公演「おかしな2人(女性版)」上演。一九八〇年代に書かれたニール・サイモンの作品。

今回はポルトホールで上演した。昨年の卒業公演(え



ことができ、仕込みに余裕があった。小屋入り後の稽古による役者の急激な成長、十分に時間をかけることのできたテクニカルリハーサルなど、“ホームグラウンド”で行う多くの利点を感じた。

ぼあホール)、今年
の中間公演(教育文
化会館小ホール)と
外部ホールが続いて
おり、久しぶりの
“ホームグラウンド”
での公演であった。
外部ホールの利用に
関しては、学生にい
ろいろなホールを休
験させる意味では利
点があるが、金銭的・
時間的制約に厳しい
ものがある。
今回は十二月一七日
から十二月二日まで
の六日間(本番日
二日)小屋入りする